

ともしび ブダより

第92号



社会福祉法人 依田窪福社会

事業別連絡先一覧

- | | | | |
|---|----------|-------------------|----------|
| ●法人本部 | ☎85-2202 | ●デイサービスセンター 武石 | ☎75-0522 |
| [E-mail] info@yodakubofukushikai.jp | | ●ヘルパーステーションこすもす | ☎85-0098 |
| [U R L] http://www.yodakubofukushikai.jp/ | | | |
| ●依田窪特別養護老人ホーム | ☎85-2218 | ●デイサービスセンター 長門 | ☎68-0226 |
| ●短期入所生活介護事業 | | ●小規模多機能型居宅介護 大門の家 | ☎41-2123 |
| ●依田窪福社会居宅介護支援事業 | ☎85-2047 | ●デイサービスセンター 和田 | ☎88-0077 |
| ●相談支援事業 花もも | | ●高齢者生活福祉センター | |
| ●寄り合い処 なすな | ☎75-0522 | ●グループホーム和田 | ☎88-0088 |

特別養護老人ホームともしび

コロナ禍でも楽しみを見つけて



昨年度は、新型コロナウイルスのワクチン接種に振り回された1年間でした。それでも、ともしび内でできることを、みんなで思いっきり楽しみました。

昨年末の餅つきは、104歳のご利用者がついてくださいました。ご利益がありそうですね。



ともしびでの看取り

コロナ禍においても、施設でご利用者の看取りをさせていただいています。

施設では、延命治療はできません。心臓や肺などの機能が加齢によって衰え、栄養や水分、酸素を身体中に送ることが出来なくなった時、「看取りの時期」と診断されます。診断後も体調をみて、窒息や誤嚥に気をつけながら、少量の水分ややわらかい食べ物を口にすることはあります。ご利用者の苦痛をなるべく少なくするよう環境を整え、身体の衛生に気を配り、ご家族と連絡を密にとりながら、ともしびで過ごさせていただいています。

コロナ禍では、ご家族には外から直接個室へお入りいただき、ご利用者と一緒に過ごしていただけるようにしています。

病院へ行って治療を望まれる方もいらっしゃいます。どちらが正解ということは決められません。ご利用者の意思が確認できるのであれば、そのご意思を尊重するのが一番良いことと考えます。

最期の時にも、ご利用者とご家族、職員が「いっしょ」であること。それが私たちの願いです。

依田窪福祉社会居宅介護支援事業

御開帳・御柱祭×コロナ=感染対策を続けることが大切!

長野県では今年、善光寺の御開帳や諏訪大社御柱祭などの記念行事が続きます。御柱祭は自粛の中で規模を縮小しての開催になってしまいました。何の心配もせずにお参りやお祭りに行くことができていた頃が懐かしいですね。

長年続いている行事を楽しむためにも、マスクの着用、手洗い、換気などの基本的な感染対策を継続し、感染リスクの高い場所や場面を避けるように行動しましょう。

次回の御開帳や御柱祭の時には「前は新型コロナウイルスで大変だったね」と笑って話せるようになっていくことを信じて、十分な睡眠とバランスの良い食事で免疫力を付け元気に過ごしましょう。



デイサービスセンター武石

地域の居場所の一つに

武石地域に通所サービス事業所を開始して1年が経ちました。ご利用者・ご家族の皆様をはじめ、関係各所の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。令和4年5月からはサービス時間を延長して営業することになりました。在宅生活の支援などを通してご利用者とさらに向き合い、いきいきと過ごせる場所を目指し、2年目の活動を行っていききたいと思います。

デイサービスは、入浴などの介護支援をはじめ、身体機能や認知機能の維持に繋がる様々な活動を行っています。一方で地域の高齢化の中で一つのコミュニティの場所になりつつあります。新しくご利用される方もどなたか顔なじみの



ご利用者が既にいらっしゃいます。地元にあるデイサービスだからこそその温かみが感じられます。

ご利用者が自然体で**我がまま**でいられる場所。「ここに来ることが張り合いだよ」というご利用者の声が私達も励みになります。

地域の馴染みあるつながりの中で、いつまでも家で元気に暮らしたい方々のために、居心地のいい居場所の一つになることが求められていると感じます。その想いに応えていきたいと思っています。



ヘルプーステーション じすもす

転倒に気を付けましょう

一人暮らしをされている方が、自宅で転倒し骨折されたという事故が続きました。住み慣れた家の中にも転倒の原因があるものです。

例えば、床が滑りやすいとか、小さな段差があるとか、ちょっとしたことが転倒の原因になります。筋力が段々と低下してきて足が上がりにくくなり、カーペットのほんの少しの段差でつまずくこともあります。

車椅子や歩行器のブレーキがかかっていなかったり、通り道に物が落ちていたり…など普段と違う状況が転倒につながる場合があります。ヘルパーが訪問し、環境を整備することで、生活動線の確保ができ、転倒を防げることもあります。

ご利用者の身体の状態や歩き方をよく見て、転倒リスクなどがあるか、住環境や介助の仕方をケアマネジャーと相談し、見直しています。



寄り合い処 ならずな

令和3年度は事業所名を「寄り合い処からさわ」から「寄り合い処ならずな」に変更し、事業所の場所も変わり新たなスタートとなりました。事業所の変更に際してはご利用者の理解もあり、すぐに慣れ親しんで頂くことができました。

また昨年度は、引き続き新型コロナウイルス対策に追われた1年でもありました。そのため、ご利用者が特に楽しみにしている外出・外食があまりできず、事業所内で過ごすことが多くなりました。このような中でも手づくりの時間や体操を充実させ、楽しく笑いに満ちたならずなの時間を過ごすことができました。3月には昨年12月から作り始めた今年の干支の寅も完成し、ご利用者は大満足されていました。

新型コロナウイルスは未だ終息が見えない状況ですが、「ならずな」を楽しみにしてくださっているご利用者のために、今後も状況に合わせ笑顔あふれる「ならずな」を継続していきます。



今年の干支、寅を完成させました。

デイサービスセンター 長門だより

ほっと時間

午睡後、好きな飲み物を飲みながら、ゆっくりとご利用者と職員がおしゃべりを楽しむ時間。それがほっとカフェ時間です。

2月の一番人気のドリンクは“ミルクココア”でした。月が替わり3月になると1番人気は“りんご紅茶”になりました。

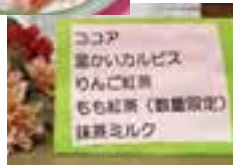
ご利用者は新しい飲み物と味に興味津々。季節に合わせて新しいドリンクが登場し人気も変わります。メニューの書き方やおすすめの方法など職員の工夫で人気も変わります。

職員「今日の飲み物は何にされますか？」

利用者「カフェオレってどんなもの？」 「初めて飲んでみたよ。美味しいもんだ。」

「りんご紅茶は美味しいね。」 「何にしようかな。抹茶ミルクってなんだい。」

「私はミルクココアが好き。喫茶店でよく飲んだよ。」



ご自宅では、緑茶やコーヒーを飲んでいるという方が多いですが、デイ長門のほっとカフェ時間では気分を変えて、新しい飲み物を楽しんでいただきたいと思います。

そして、この時間は“ゆっくりとご利用者のお話を聞く”ということを大切にしています。

世間話や笑い話は皆さんと一緒に楽しめます。時には悩みをお聞きすることもあります。悩みは人に話すことで少し気持ちが楽になります。

皆さんのお話や悩みをお聞かせください。そっと寄り添えるデイ長門を目指しています。

小規模多機能型居宅介護

大門の家

一緒に懸命

大門の家では、令和3年度の冬(1月～3月)は休まずに宿泊業務を行いました。それはこの地域の厳しい寒さが独居のご利用者にとっては過酷だからです。昨年は12月の中旬から厳しい寒さに見舞われ、あっという間に個室は満床となりました。

連日の宿泊も1か月が過ぎる頃、ご利用者の嬉しい変化を目の当たりにしました。大門の家ではその日の日付と曜日を大きな文字で壁に掲げています。最初は職員が夕食後に声掛けをし、一緒に翌日のものに変えるようお願いしていました。しかし徐々にご利用者が声を掛け合い、自発的に日付を変えるようになりました。大きなカレンダーの前に立ち「今日は〇日でしょ?だから…」と相談し合い、協力して作業を行っていたのです!

その他にも、職員が掃除機をかけたすと手伝いを申し出てくださるご利用者もいらっしゃいます。その方に作業を託すと、座ってTVを見ていた方が誰に言われるわけでもなく、掃除機をかけている方の後ろでコードが絡まぬようにほどこき、椅子をどかしスムーズに作業が運ぶようと手伝いはじめます。その姿を見て、自分でもできることをやろうとする方が次から次へ。

その光景を見て新鮮な驚きと感動を覚えました。そして『認知症』とは、もしかすると私たちが作ってし

まっているものなのかもしれない」との考えがよぎりました。

奇異な行動をしていると見えるかもしれませんが、話を伺ってみると本人なりの考えに基づく行動であったり、できないのではなく手早くできないだけで、ゆっくり時間をかけたり、少しのお手伝いをすることで、できることがたくさんあります。

高齢者に関わると、出来なくなっていくことに目が奪われがちですが、私たちの物の見方や尺度で判断するのではなく、その方の目線で見ることや考えることで判断や対応は大きく変わります。関わることは大げさに言えば、その方の人生を左右することになるのかもしれない。当法人の介護方針である「ゆっくり」「いっしょ」「わがまま」がいかに大切なものなのかが実感できた冬でした。



グループホーム 和田

「陽子さん、めしやー(飯)まだかい?」

このセリフを聞いたことがありますか?

ともしびだよりをお読みいただいている世代の方なら知っている方も多いのではないのでしょうか。そうです。志村けんさんのコントのひとつです。

簡単に説明させていただくと、志村けんさんが扮したおじいさんが、お嫁さんらしき人に何度も何度もご飯を食べたか聞きにくる。お嫁さんは何度も「さっき食べたでしょ」と伝えるのに、また次には「飯は食べたかい?」と聞いてくる。「ばあさんはどこへ行ったかい?」お嫁さんは「去年死んじゃったでしょ」と答える。「便所へ行ってくるわな」そう言って筆筒の扉を開けようとする。それを何度も繰り返すのです。

コントの落としどころとしては、実際はそのおじいさんは認知症ではなかった、というのですが、私は子供の頃ただ笑ってそれをテレビで見ていた記憶があります。

この仕事に就いて思うのが、これが世間の「認知症のイメージ」ではないかと思えます。

皆さんは、認知症にどのようなイメージをお持ちですか?

「認知症になると何もわからなくなる」「同じことを何度も繰り返して、会話もまともにできないのではないか」そんなイメージの方も多いかもしれません。しか

し認知症は脳の障害の部分によって様々な影響を与えます。

「認知症なのにしっかりしたことも言えるんだね」「認知症なのにそれは覚えているんだね」認知症をあまりよく知らない方からはこのような言葉もよく聞きます。

認知症の方でもできることがたくさんあります。「色々な事が分からなくなってしまって、こんな歳まで生きているから人に迷惑をかけてしまう」そうおっしゃって涙するご利用者とたくさん関わってきました。

グループホーム和田が移設して1年が経ちました。

私たちグループホームの職員は、地域の皆様にもっと認知症を知って頂き、支え合って生きているんだということを伝えていきます。また「認知症になってもこうやって、支えたり支えてもらったりしながら住み慣れた地域で暮らしていけるんだ」という安心が届けられるような活動を行っていきます。



デイサービスセンター 和田

デイサービスセンター和田には90歳を超えても元気に通っていらっしゃる方が沢山います。畑仕事や趣味を頑張っておられる方も少なくありません。事業所では自宅での生活が苦勞にならないよう、しっかり身体を動かし筋力を保つためのプログラムを実施しています。理学療法士の指導・計画のもと、レッドコードを使用した運動や個別のメニューを行うことで、生活をする上で必要な動作をこの先も続けていけるように取り組んでいます。



日々の機能訓練としては長時間ではありませんが、「少しずつ」を「長く」継続することによって、ご利用者が自宅で元気に過ごせる時間がいつまでも続くことを願っています。そして今年度より、現在厚生労働省が進めている「科学的介護情報システム」の活用を当事業所でも開始することになりました。今後も質の高いケアの提供を通じて、ご利用者の機能向上に繋げていけるよう努めていきます。

介護職員・看護職員募集

特別養護老人ホーム ともしび

介護

正規職員(夜勤のできる方)

介護福祉士資格をお持ちの場合

基本給 **18万円**～

そのほか、
通勤手当・住宅手当・早番、遅番手当等があります
※昨年度賞与支給実績 基本給×4.2ヶ月(処遇改善加算含む)

臨時職員(遅番<21時まで)できる方)

時給 **910円**～

8時30分～21時00分のうち、3時間以上(応相談)

お持ちの資格によりプラスあり

そのほか、
通勤手当がつきます 勤務時間により賞与支給あり

ヘルパーステーションごすもす

介護

臨時職員

介護福祉士資格をお持ちの場合

時給 **930円**～

8時30分～19時00分のうち、3時間以上(応相談)

お持ちの資格によりプラスあり

そのほか、
通勤手当がつきます 勤務時間により賞与支給あり

デイサービスセンター 和田・長門・武石

介護

臨時職員 時給 **880円**～

8時30分～17時00分のうち、4時間以上(応相談)

送迎車の運転手(70歳未満の方)

時給 **900円**～

8時～10時 / 15時30分～17時30分

看護

臨時職員

看護師資格をお持ちの場合

時給 **1200円**～

8時30分～17時00分のうち、
4時間以上(応相談)

そのほか、
通勤手当がつきます 勤務時間により賞与支給あり



問合せ先

資格の無い方もご相談ください。
担当: 法人本部 西沢(TEL 85-2202)

ご寄附ありがとうございました。



令和4年3月12日 ●吸引器 1台 宮下 まさ子 様

令和4年4月5日 ●5万円 匿名 様

令和4年4月9日 ●3万円 匿名 様

令和4年5月1日

発行者: 社会福祉法人依田窪福祉会 理事長: 渡邊 和美 編集: 広報委員会 所在地: 〒386-0503 長野県上田市下武石776-1
TEL.0268-85-2202 FAX.0268-41-4200 E-mail: info@yodakubofukushikai.jp